



黒沢西蔵園長

三愛主義とは何か

酪農学園園長 黒沢西蔵



第1号 発行 野幌582
農業別刷 江別市印刷株式会社

あり、努力、精進、修養鍛錬を為すことである。聖パウロの如き人でも「ああ我惱める人なるかな」と嘆声しているほど良い行ないをしよう、しようと掛けながらちょっと油断しているあいだに自分でもあきれかれるほどの罪深い行ないに走る。それが人間というものの人は弱いものなのだ。

良い行ないをしよう、しようと油断して直に悪心がはびこる。そもそも、人間は善心と悪心の二心を持つものであることを悟り、常に心掛けて善なる心を刺激し続ければ、遂に悪しき心はかけをひそめ、私の心は全部善になる。この努力を続けること。即ち愛神であろう。西郷南州先生の信条であった「敬天愛人」の敬天とは愛神と同じであり、これを実践する境地ではあるまい。

ちよつとの油断に善心は消え

たのである。それがあくまで善

心であるが、人間社会では

かれてはならない。これは本能的欲

望に身をゆだねた場合、決して

到達できない境地であり、己れ

を愛する如く、己れの欲するところを他に施し、愛するのではな

ければ人間ではない。それには

まず、人をわけへだてしない人

間にならなければならぬのだ。

次に「土を愛す」とは何か。愛

土とは人類の母体である土、母

なる大地に心血を注ぎ、これを

豊かにするということである。

人類はこの世に誕生して少な

くとも百万年の才月を経て今日

の進歩を致したのであるが、人

間はもちろん、生あるものは全

て土から生まれ土に還る。これ

は生命の続く限り、未来永劫に

繰り返す。そうして神はそれを

の民族に自然安住の地を与えた。大和民族の地が即ち

日本の国土である。だから國士

の神から見ればごく一部に過ぎ

ない。だから必ず滅びる。しか

ら私はこれは真理だと思う。

この手紙を読むたびに靈感を感じる。私はこれは善人

になりたい、聖人君子になりた

い、終局は神人一体にまで到達

したい、よしんばそこまで行きつけなくとも一步でも近づきた

と私は思う。愛神とは善なる行

が、私は眞に人を愛すること

に徹すれば戦争の如き力の争い

は必ずこの世から抹殺すること

ができると信じている。愛な

き禽獸の世界を支配する法則は

いい行ないをしよう、しようと

心掛けながらちょっと油断し

いるあいだに自分でもあきれ

かれるほどの罪深い行ないに走

る。それが人間といふものなの

だ。私もそうだ。

良い行ないをしよう、しようと

心掛けながらちょっと油断し

いるあいだに自分でもあきれ

かれるほどの罪深い行ないに走

る。それが人間といふものなの

だ。私もそうだ。

良い行ないをしよう、しようと

心掛けながらちょっと油断し

いるあいだに自分でもあきれ

かれるほどの罪深い行ないに走

る。それが人間といふものなの

だ。私もそうだ。

良い行ないをしよう、ようと

心掛けながらちょっと油断し

いるあいだに自分でもあきれ

かれるほどの罪深い行ないに走

る。それが人間といふものなの



大学本館前で憩う学生たち

て昭和二十五年酪農学園短期大学の開学へと発展されました。創立者の構想はここで滞ることなく昭和三十年には酪農学園大学酪農学部酪農学科の開学に至りここに、酪農を中心とする教育機関が多面的機能を備えて体系

戰後におけるわが國經濟の驚異的な發展は、農業と他産業との間に著しい生産性の格差を生み出しており、加えて、貿易自由化の高波が押し寄せる中で、わが國農業は厳しい試練に立たされております。この重大な時期にあたつて、農業の近代化と構造改善が急を要する課題として推進されていますが、とりわけ、わが国酪農の拡充發展とその國際的地位の確立は、日本農業の改善に最も大きく寄与するものと考えられております。このような状況において、高度な理論と実踐力を有する近代的

科学の 最高学府

農 學 園 短 期 大 学

農人・酪農人を養成せんとする
本学の使命と責任は、誠に大な
るものがあるといわざるをえま
せん。

わが国唯一の酪農専門の学府である本学は、昭和八年に北海道酪農義塾として創設された酪農学園の歴史の中で、比較的新しい部局に属しています。日本農業の体質を酪農によつて変革し、そのための有為な人材を養成せんとして、本学園を創設された黒沢酉藏先生（現園長）の志は、機農高校の開校（昭和十七年）通信教育機関としての高等酪農学校の開校（昭和二十三年）

百余名は、全国各地から集まつて、大学学生一五五〇名および短大一部学生二二〇名とともに大学人としての人間形成と酪農を中心とする多様な学問の修得に励んでおります。

Digitized by srujanika@gmail.com

改善し、農をもつてせんと主張されることは道義と価値敗戦直後、この三つの基礎とされた大きく、今日の確度を欠いた青年の惹起問題を考えるとき、神は本学の存在理由を信を与えるものとす。

農業関係	30	4.0
関係	19	2.0
員関係	39	5.0
団体関係	57	7.0
商事関係	77	9.3
工業関係	28	3.0
び農場実習	232	29.0
良普及員	14	2.0
試験場	3	0.4
学	130	16.0
の他	77	9.3
計	809	100.0

学校の創立を要するの難関である北海道の酪農に特色争だけなわるため、農業されたので協同組合で道農業会になり、一応なったので連加入の組すことになつたので、當時の酪連生は「皆さえぼ、やがしそうが、めてわれわする学校をりませんか」と北海道農うではあり強く呼びか

するため自営者
ばんとする者は、
人の忤であろうと
叶てやらなくては
頭の開発こそ北海
発であり、農民の
の向上である。そ
授業料はとらない
で食費も寮費も不
でやつてこいとい
と実にすばらしい
た。

關山　　三楊家屋　　地上　　地下

の創設と 者教育

その全員が農家に帰つてゐる現況で、このことは自営教育をめざす本学園の特色してよろこびにたえないところである。

現在、わが国の農業高校の方については、再検討がえられた結果、自営者養成目標と施策が行なわれ、農教育を重視する寮教育が各道府県で実施されつつあることは、農業教育のあるべきと考え、喜ばしいことである。わが酪農学園において既に創設以来実施してきた教育方針であり、今更ながら営業者養成を目標とする、育構想が卓抜していたこと一層の自信を感じる次第である。最後に学園創設に協力された農民諸賢と、その発展に援助いただいたて今日に至った各位に心から感謝の意をする次第である。

年。酪農学園の出
養成ということに
う。機農学校（甲
）が設立された趣
農業の確立には、
者を育成すること
のために、百姓
できるといわれた
て、腕と能力を兼
人に待たなければ
そうした人材を送
機農学校の使命で
は、学園の前身酪
設された黒沢園長
り持論であった。
立の構想は「北方
そして「われわれの力で設立
する農業学校は、現在見るよ
うな月給取り養成のありふれ
たものであつてはならない。真
の農人養成の学校を」と教育
方針をかけ、組合員の一人
一人を説得したのであった。
かくして、農民の力は結集
され、農民のための学校とし
て誕生したのである。農民の
力で創設された学校は、おそ
らく全国には本学園が唯一の
ものであろう。かくして自営
者養成の教育は、心身共にき

習、実験を重視して消化されこそ、ほんものの力となるんだとしているのである。従つて農場の規模にしても、模型的な見本ではなく、全国稀に見る広大なものとし、乳牛にしても多頭数を飼育し、農場作業も牛舎管理作業も、実際に農場経営を通して、十分腕をみがかれることをめざし、圃場すなわち教室という考え方とともに進められたのである。

農学園だより

別表の示すとおりとなつています。(但し短大一部の表は三十一年度卒業第八期生以降のものとなっています。)

大学の場合、乳製品・食品製造関係が合計して一三・四%となり、次いで商社が一〇・八%を示しております。前者は主として酪農学科の卒業生が、後者は、農業経済学科の卒業生がそれぞれ大半を占めております。乳・食品関係についていえば、今後更に進出を期待しているところであります。獣医学科はまだ二回しか卒業生を送り出しておりませんが、獣医師国家試験は第一期生が八七・四%、第二期生が九七・四%の好成績にて合格しており、その任地も道

なつており、次いで商社が一〇・八%を示しております。前者は主として酪農学科の卒業生が、後者は、農業経済学科の卒業生がそれぞれ大半を占めております。乳・食品製造関係についていえば、今後更に進出を期待しているところであります。獣医学科はまだ二回しか卒業生を送り出しておりませんが、獣医師国家試験は第一期生が八七・四%、第二期生が九七・四%の好成績にて合格しており、その任地も道

なつております。(但し短大一部の表は三十一年度卒業第八期生以降のものとなっています。)

公務員(農業関係の)など、職種は各方面にわたっており、広い意味での農業指導者として活躍しているといえましょう。

やがて、クリスマス、学生達はそれぞれに勉学の業に励んで

園生活を営んでおります。

素朴にして純真な性

格の学生が多く、農業人として

の様々な抱負と関心をもって学

希望や提言が出されたり、大学

問題など全国的規模の問題につ

いても発言がなされたりもいた

しますが、幸い平穏のうちに学

生、教職員、それ

ぞれ機関を通して率直な

問い合わせに個別的に十

分な話し合いを持

つことによって問

題解決に努力して

おります。

昨年度より本学

の施設整備五か年

計画がたてられ、

近い将来には酪農

学科を中心とする

総合校舎の建設が

約束されておりま

す。

私ども教職員はこのことを深く感謝しつつ本学所期の目的が

いかんなく達せられるよう、そ

のための努力を惜まぬ所存であ

ります。

最後に日頃学園とりわけ本学

のためのご鞭撻、ご協力下さつ

る多くの方々に衷心よりお

現況報告を終らせていただきま

す。



バター製造実習—乳製品工場—

記念式典が、学園の創立三十周年記念と、併せて行なわれたのは、昭和三十七年十月である。この日に機農高校の本校舎(鉄

筋三階建延一、四六五平方米)の落成が同時に行なわれた。この建物は、北連、信連、共済連であるが、この新校舎の一階廊

機農高等学校の開校二十周年記念式典が、学園の創立三十周年記念と、併せて行なわれたのは、昭和三十七年十月である。この日に機農高校の本校舎(鉄

筋三階建延一、四六五平方米)の落成が同時に行なわれた。この建物は、北連、信連、共済連

であるが、この新校舎の一階廊

後継者育成の全寮制教育

酪農学園機農高等学校

が、本学を卒業した約一二%の者が主として道内のしかも地方の酪農地帯で教育を通じて良き農業人の育成に力を入れてゐるというわけではありませんが、本学を卒業した約一二%の者が主として道内のしかも地方の酪農地帯で教育を通じて良き農業人の育成にあたっていることは、大学の酪農人育成の使命を自からがもつた結果だと考へます。

昭和三十八年より、從来農村組合科)を廃止し、農業科を酪農経営科に改めて、名実共に酪農教育に集中すると共に、本年度より間口を二学級制として、さらには、教育内容の充実をはかるべく、計画を進めている。

本年度生徒数は、在籍総数三四名で、うち二九三名が道内出身者で、道外は四一名である

が、これは総数の一〇%にあた

る。県別では青森県の一四名が

最も多く、千葉県の五名、岩手

県、福島県、秋田県の三名が続

き、分布は一都、一三県に及ん

でいる。道内では、網走支所の

農業三団体の寄附によるもの

であるが、この新校舎の一階廊

筋三階建延一、四六五平方米)の落成が同時に行なわれた。この建物は、北連、信連、共済連

であるが、この新校舎の一階廊

筋三階建延一、四六



酪農学園短期大学酪農学校校舎

本校は終戦直後に設立され、昭和二十一年に、酪農通信教育の各種学校として発足しました。当時の農民は敗戦に希望を失い、如何にして立ち上るかと途方にくれていた時代でした。

この時に本校は、農民に希望を与えるとして誕生したのですが、それはかつて戦に敗れ、領土の半分を失ったデンマークの歴史に教えられてのことです。即ちどん底の苦しみから立ち上がったデンマークの農民達に光明と力を与えたグレンンドビーの教の声に学んでのことです。そのことは黒沢園長や当時の青山理事長が、農民の先頭に立つて力強く訴えたものでした。

「日本をデンマークの如くに―それにはグレンドビーが国民を導いた偉大な声に学ばなければならぬ。」外に失ったものは内に取り返えそう。いまだデンマークには開拓すべき多くのものが残されてゐる。それは頭の開拓である。青年の頭の開拓こそ無限大である。

全國唯一の酪農通信教育

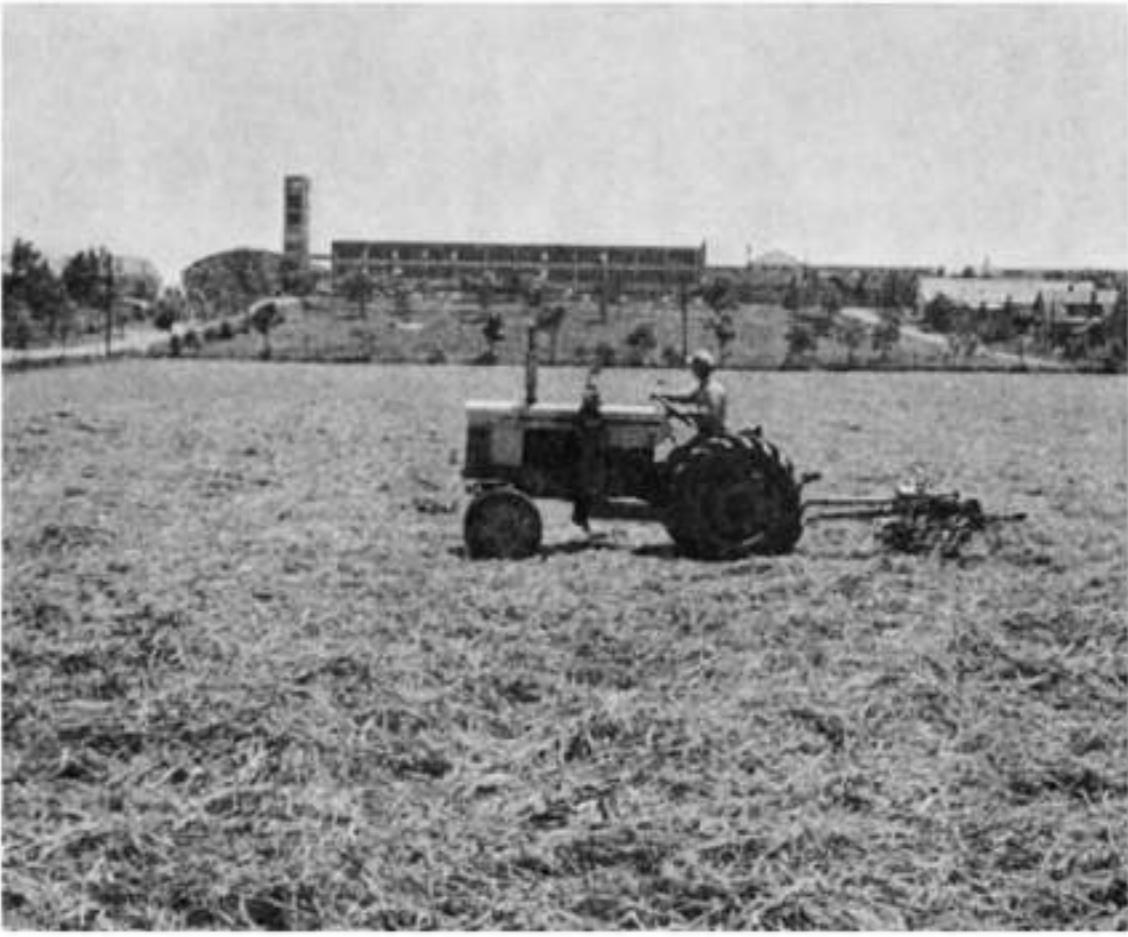
この青年の頭の開拓こそ無限の教世の訓に添つて本校は全農民を対象に、通信教育を開始したのです。そして酪農学園を全国農民の学校として解放したのでした。

設立当時のあれこれ

当時は物資不足で、印刷紙などは統制で配給制度でした。印刷に使うザラ紙など、一枚の入手も容易ではありませんでした。通信教育というからは、何と言つても紙が命です。當時の理事長青山先生に、文部省その他にお百度参りしていたが、何と大量の紙が貯蔵場所に困る程配給を受け、今は度は逆に紙の消化に困ったことでも思ひ出です。おかげで恵れた通信教育の出発となりました。そして、教育・指導・読み物に飢えていた農村の青年男女は勿論、多くの指導者階層まで、殺到しての入学を見たのでした。

それから時代は流れています。

既に本校の卒業生は八万になんなんとしており、日本本土は言うに及ばず、南米、台湾、韓国など海外にも進出しています。本校は酪農通信教育の認可校



中央農場の牧草反転作業の一コマ

沿革

昭和十七年、機農高校（当時の機農学校）の創立と共に現在地の江別市西野幌に一三〇haの農地を求めて農場が創設されました。当時は酪農義塾以来の実践的な農場塾教育の精神を継承して、種々の組織、規模（七〇ha）の八農場が作られ、各農場はそれぞれ独立した農場であり寮を併置して農場長は寮長を兼ね自ら農場教育と訓練を担当しました。戦後の農地改革、高校教育におけるカリキュラムの変更、大学、短大の設立、農

－この青年の頭の開拓こそ無限の教世の訓に添つて本校は全農民を対象に、通信教育を開始したのです。そして酪農学園を全国農民の学校として解放したのでした。

植苗農場（苫小牧市所在）は酪農義塾の基本財産として酪連から寄贈された農場で、機農高

－この青年の頭の開拓こそ無限の教世の訓に添つて本校は全農民を対象に、通信教育を開始したのです。そして酪農学園を全国農民の学校として解放したのでした。

新たに機農高校農場を加えて組が行なわれ、元野幌農場は独立し、元野幌を除く中央農場に

－この青年の頭の開拓こそ無限の教世の訓に添つて本校は全農民を対象に、通信教育を開始したのです。そして酪農学園を全国農民の学校として解放したのでした。</p

酪農学園より



植村 甲午郎 会長

酪農学園後援会の設立と活動について

後援会事務局

五名の御就任を戴き、尚評議員、顧問についても各界の方々を御推挙御就任いただく事な

つている。既に後援会活動として基金造成と学園の施設充実及び財政援助のため総額五億五千

万円の募金計画を樹て、それぞれの協力組織を通じて目下着々運動を開催している。

昭和三十五年酪農学園の後援会目的に町村知事が会長となつて、酪農学園後援会が設立されたが、さしあたっての事業として、学園の施設充実に要する資金一億五千万円の募金を行なつたのである。広く各界のご支援を得て目標額を達成し、その資金をもって大学校舎及び実験室等二〇三六坪、機農高校々舎及び体育館五〇三坪、三愛女子高校講堂及び体育館四〇〇坪の施設充実を行なうことができ、学園が今日の教育成果を収める上に多大の貢献をしてきたのである。その後、後援会活動は暫く休止の状態になつたが、昨年十二月十六日関係者の懇談会において、これまで申し合せ団体であった後援会を財團法人に改組し、社会的要請である酪農教育振興のため、充実した後援活動の再発足を行なうことになり、その後世話人会により立案された構想が今年二月十四日の発起人会で承認され三井武光氏が設立発起人代表となつて財團法人設立許可申請の手続きをとり、十一月十八日付文部省委管第十四号により許可を得た。この新しい後援会は財界を初め、農業団体、乳業関係、地方自会員になつていただき、会長には植村経連会長、副会長には高橋北海道農業協同組合中央会長、瀬尾雪印乳業株式会社社長、三井クレードル興農株式会社社長又理事には各界より二十

振興に寄与することを目的とする。

事業

前記目的を達成するため、次の事業を行なう。(1)酪農学園の施設、設備の整備拡充費に対する助成、(2)酪農学園の維持運営費に対する助成、(3)

酪農学園における学術調査研究に対する助成、(4)その他前各号に掲げる事業に付帯する事業。

△後援会会員の目的及び事業に賛同し後援する者(団体を含む)は、次に掲げる後援会員になることができる。

△資産の構成
 (1)この法人設立当初の寄附。
 (2)会費。(3)資産から生じる果実。(4)寄附品。(5)事業に伴う収入。(6)その他の収入

△資金の使途
 合計
 1 酪農学園後援会基金
 2 酪農学園施設費
 3 五五〇、〇〇〇千円(内訳)
 ① 大学及短大総合校舎(附属設備含む)
 一九八〇m²
 一五〇、〇〇〇千円(四
 五一四六年予定)
 ② 実習農場家畜舎外
 (附属設備含む)
 二、三三三²m²
 一五三、〇〇〇千円(実施
 施設)
 ③ 大学及短大寮
 短大二、七三五²m²
 一五三、〇〇〇千円(実
 施)
 合計
 五五〇、〇〇〇千円

△法人が寄付をする場合
 (1)学園施設三五〇、〇〇〇千円に該当する寄付金は法人税法第三十七条第三項第二号の規定に該当する寄付金(指定期付金)として酪農学園が大蔵大臣の承認を得た写しを定め付金として酪農学園が御付下さった法人におわたる。

△編集後記
 懸案の「酪農学園だより」第一号を発刊して今までご支援下さいました関係各位始め父兄各位に配布して学園の現況と教育の真価を一層ご理解していただき、更に厚いご支援を願うものである。植村甲午郎氏を戴き学園として財團法人酪農学園後援会が設立されて会長には経連会長の職責改善が強く呼ばれている折柄後援会各位の一層のご協力のもとに施設・備と教育内容の充実を図り初期の目的達成に努めてまいりたい。(K)

一社四河行

植村甲午郎

■後援会の概要

△法人の種類
 後援会活動の充実と継続性をもたせるため、下記内容による財團法人とする。

△名稱
 財團法人酪農学園後援会

△役員、評議員及び顧問
 会員は評議員会員を置く。常任実行委員会を設ける。

△監事
 常務理事一名を置く。監事二名以上三名以内。理事

より理事会でこれを選任し、会長がこれを委嘱する。

△組織活動
 ①会運営の円滑を図るため、理事のうちより一二名をもつて常任実行委員会を設ける。

△募金計画
 会社並に金融関係者、雪印乳業及びその関連会社、一五〇、〇〇〇千円

金の額の合計額をその計算の対象から除外することを定めたもので、限度計算の対象から除外された額は当該事業年度の損金の額に算入されることになる。

△個人が寄付をする場合
 入限度額と同額迄を別枠として認められることになる)特例の適用対象として損金算入を認められる。

△学園施設三五〇、〇〇〇千円に該当する寄付については、酪農学園が指定寄付の承認を得た大蔵大臣告示の写しと受領書を御寄付下さった個人におわたります。また、財團法人酪農学園後援会基金二〇〇、〇〇〇千円については後援会が所得税法の特例措置を受けるに該当する法人であることの文部大臣の証明する書類の写しと受領書をおわたります。

△個人が寄付をする場合
 入限度額と同額迄を別枠として認められることになる)特例の適用対象として損金算入を認められる。

△個人が寄付をする場合
 入限度額と同額迄を別枠として認められることになる)特例の適用対象として損金算入を認められる。

△事務局
 及び監事は評議委員会において選任する。会長、副会長及び常務理事は理事の互選とする。④常務理事一名を置く。⑤東京に後援会活動の強化を設け後援会活動の強化を図る。⑥酪農学園報を年に三回発行し、これを後援会関係者に送り学園への理解を深めるようにする。

△後援会事務局
 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員会の意見を聞かなければならぬ。

△後援会会員
 ①この法人設立当初の寄附。
 ②会費。(3)資産から生じる果実。(4)寄附品。(5)事業に伴う収入。(6)その他の収入

△資産の構成
 ①この法人設立当初の寄附。
 ②会費。(3)資産から生じる果実。(4)寄附品。(5)事業に伴う収入。(6)その他の収入

△資金の使途
 合計
 1 酪農学園後援会基金
 2 酪農学園施設費
 3 五五〇、〇〇〇千円(内訳)
 ① 大学及短大総合校舎(附属設備含む)
 一九八〇m²
 一五〇、〇〇〇千円(四
 五一四六年予定)
 ② 実習農場家畜舎外
 (附属設備含む)
 二、三三三²m²
 一五三、〇〇〇千円(実
 施)
 ③ 大学及短大寮
 短大二、七三五²m²
 一五三、〇〇〇千円(実
 施)
 合計
 五五〇、〇〇〇千円

△法人が寄付をする場合
 (1)学園施設三五〇、〇〇〇千円に該当する寄付金は法人税法第三十七条第三項第二号の規定に該当する寄付金(指定期付金)として酪農学園が大蔵大臣の承認を得た写しを定め付金として酪農学園が御付下さった法人におわたる。

△編集後記
 懸案の「酪農学園だより」第一号を発刊して今までご支援下さいました関係各位始め父兄各位に配布して学園の現況と教育の真価を一層ご理解していただき、更に厚いご支援を願うものである。植村甲午郎氏を戴き学園として財團法人酪農学園後援会が設立されて会長には経連会長の職責改善が強く呼ばれている折柄後援会各位の一層のご協力のもとに施設・備と教育内容の充実を図り初期の目的達成に努めてまいりたい。(K)

△個人が寄付をする場合
 入限度額と同額迄を別枠として認められることになる)特例の適用対象として損金算入を認められる。

△個人が寄付をする場合
 入限度額と同額

昭和45年度 酪農学園学生・生徒募集案内

酪農学園大学

■農業の近代化、科学的、文化的な農人の養成およびその指導者を養成する。

■酪農技術指導の出来る獣医師を養成する。

■酪農学部 酪農学科 160名
(共学) 農業経済学科 100名
獣医学科 40名

	推薦入学	第一回募集	第二回募集
願書受付	12月17日～1月12日	1月12日～2月5日	2月23日～3月19日
試験日	1月17日(土) 1月18日(日)	2月11日(水)	3月26日(木)
試験場	本学・東京 京都	本学・東京・京都	本学・東京
試験科目	小論文・面接 ※出身学校長の推薦書 が必要 (書類選考)	酪農学科 獣医学科 英語B・数学I・II B 理科(生物・化学)より1科目選択 農業経済 学 科 英語B現代国語(作文を含む) 社会(政治・経済、日本史)より1 科目選択	

●教職課程・酪農育英会および学寮がある。

※入学案内・願書=送料共150円(郵券可)
069-01 北海道江別市西野幌 582

詳細は入試係へ
TEL(江別)②2542

酪農学園短期大学

■募集人員(共学) 酪農科……100名

	推薦入学	第一回募集	第二回募集
願書受付	12月17日～1月12日	1月12日～2月5日	2月23日～3月19日
試験日	1月17日(土) 1月18日(日)	1月18日(日)	2月11日(水)
試験場	本学・東京 京都	京都	本学・東京・京都
試験科目	小論文・面接 ※出身学校長の推薦書 が必要(書類選考)	英語B、数学I・II B 理科(生物・化学)より1科目選択	英語B、数学I・II B 理科(生物・化学)より1科目選択

●農業改良普及員の受験資格および人工授精師の資格を取得することが出来る。

●酪農育英会および学寮がある。

※入学案内・願書=送料共150円(郵券可) 詳細は入試係へ
069-01 北海道江別市西野幌 582 TEL(江別)②2544

■酪農学園短期大学 II部(季節制)

- 募集人員(共学) 酪農科……120名
- 願書受付 1月20日(火)～3月19日(木)
- 試験日及び場所 3月26日(木) 本学・東京
- 推薦入学 書類選考・小論文・面接

◎畜産・畑作園芸・水稻を選択専攻する。◎学寮がある。

※入学案内・願書等詳細については100円(郵券可)封入の上、下記に請求して下さい。

酪農学園短期大学二部入試係 069-01 江別市西野幌 582 TEL(江別)②2544

三愛女子高等学校

■建学精神と目的 キリスト教に基づく神、人、土を愛する三愛精神を基調とした奉仕の精神をもって、家庭と社会に活躍する女性の使命と誇りを自覚させる全人教育。

■募集人員 普通課程 1年 300名

■願書受付期間 昭和45年2月1日より25日まで(当日消印有効)

■考查日と考查科目 3月2日、前9時受付、国数英3教科と面接
3月3日 面接

■合格者発表 3月21日 正午 本校

■入学手続〆切 3月25日(当日消印有効)までに、入学一時金を納め登録すること。登録後は事情の如何にかかわらず返却致しかねます。
なお入学金と建設寄附金は入学時、2年目3月、3年目3月との3回に分割納入ができます。

■寮について 隣接して50人収容の寮施設があり、近郊通学者は冬季のみ入寮ができます。

■奨学金制度 日本育英会の外に酪農学園奨学金制度があります。

■通学の方法 野幌駅から徒歩18分、国鉄バス3分、札幌駅前からは40分

■経費 入学時受験料、2,000円、入学金5,000円、建設寄附金28,000円、生徒会入会金100円、PTA入会金300円
毎月授業料(3,200円)維持金(1000円)図書及び施設費100円、PTA会費200円、生徒会費100円。

■その他 学校要覧、及び志願のしるべ等は各中学校にあります。又返信料20円切手を添えて本校にお申出下さい。

酪農学園機農高等学校

■特色 聖書に基づく人格教育、全寮制度による生活教育、近代農場による実業教育によって新しい時代を担う酪農後継者を養成する。

■募集人員 酪農経営科 男子約90名

■願書受付 昭和45年1月20日から2月25日まで

■手続 中学を経由し本校所定の願書を提出のこと。

■入学試験日 昭和45年3月2日(月) 8時30分より

■試験場 本校、帯広、北見、盛岡、東京

■選抜方法 筆記試験(国語、数学、社会、理科、英語)及び面接

■合格発表 3月21日

文部省認定通信教育 酪農学園短期大学酪農学校

働きながら学ぶ農業近代化教育です。入学資格 学歴、年令を問わない(年間随意入学)。

○教材配布～教科書 指導書補助教材

○指導方法～本校及地方出張面接指導、質問解答、添削指導、質疑応答

■酪農科 募集人員 2,000名(2年で卒業)

酪農を基盤としての農業近代化への基礎教育

○入学金200円・授業料年5,000円、(一時納入4,800円)・講座の他各種指導教材配布。

■農業経営科 募集人員 2,000名(3年で卒業)

農業企業化への経営設計と診断及び簿記帳の実際指導教育、
経営設計(分析、設計、診断の実際)

農業簿記(やさしい複式簿記、青色申告)。

○入学金200円・授業料年4,000円、(一時納入3,800円)

■家庭科(北海道教育委員会認定) 募集人員500名(2年で卒業)
豊かな明るい衣、食、住の近代的家庭生活と主婦の教養を高める。

■近代酪農部

「近代酪農」誌を講座とし、他に經營必携書を教材として、現地の經營及び診断を指導、地方研究グループには本校講師出張無料指導。

○受講料年額2,000円

069-01 北海道江別市西野幌 582 TEL(江別)②2543

酪農学園東京事務所

東京都新宿区若葉町2の5(丸福ビル)TEL東京(341)0904